

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、病院研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益になることはありません。

研究課題名	眼球形状と視機能
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：大黒 正志
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 伏江 眞奈
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2028年 5月
研究参加拒否 申込受付期間	2028年4月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
対象者	2026年4月までに金沢医科大学病院眼科を受診した20歳以上の患者
当該研究の意義・ 目的	目的：白内障手術前後の検査結果が術後の視機能および屈折異常にどう影響を与えるのかを評価する。 意義：IOLにより獲得できる視機能は異なるが、術後に期待できる自覚的視機能（全距離視力、立体視、コントラスト感度、Straylight）は、患者の背景、眼球形状、網膜像、高次収差を把握できていると、患者にとって最適な IOL の種類、屈折値を選択できる。
方法および研究で 利用する試料・情報 について	本研究は年齢、性別、病歴、遠見視力、全距離視力、眼位、立体視、コントラスト感度、瞳孔径 遠見および近見瞳孔径、眼球形状、高次収差、Straylight、網膜像、角膜曲率半径、羞明検査、優位眼、眼圧、使用レンズのデータを診療情報から使用し、解析します。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報 の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 鶴飼祐輝 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1

	☎ : (代表) 076-286-3511 内線 (27301)
--	----------------------------------

作成日 : 2024 年 1 月 12 日